

大会運営ガイドライン チェックリスト

クラブ名 _____

実施日 2020 年 _____ 月 _____ 日

チェックした人 氏名 _____

クラブでの役職・関係 _____

このチェックリストは、新型コロナウイルス感染症による活動自粛後の活動再開(練習)に向けて、参加する選手・指導者はもとより、関係するすべての人に対して、より安全に、安心して活動(練習)できる環境を整えることができているかをチェックするものです。

本チェックリストはあくまでも目安であり、各クラブにおいて抱えている事情や設備・人員等の状況に応じて、これ以外に感染拡大防止のための必要な取り組みを適宜盛り込んでください。

A. 大会の準備に係ること

- ☐1 大会における新型コロナウイルス感染症対策を文書にしてよく見える場所に掲示している。
- ☐2 参加するクラブの代表者を集めて注意事項を伝達し、クラブ員またはその保護者、応援者に徹底するよう伝達している。
- ☐3 大会役員の中で決めたことが守られているかを点検する係が決まっている。
- ☐4 参加者(選手・審判員・役員・保護者等)の名簿を作成して保管している。
- ☐5 会場に到着したクラブに対して、検温、健康観察等を行い体調不良者は試合を見合わせる。
- ☐6 大会で新型コロナウイルス感染者が出た場合、どのような対応をするかの準備がある。
- ☐7 トイレ・手洗い場に石けんもしくはアルコール等の手指消毒剤がある。
- ☐8 鼻水、唾液などがついたゴミはビニール袋で回収し、密閉して縛って廃棄している。
- ☐9 審判員への謝礼等は封筒に入れて渡し、直接現金を扱わない。
- ☐10 審判員・役員の飲み物は各自で用意し共用しない。
- ☐11 審判員と役員で事前に打ち合わせを行い、試合開始前の握手を行わず他の手段を決めている。
- ☐12 審判員は試合開始前に、得点後の喜びで接触を避けるように伝えている。
- ☐13 審判員は選手の身体に触れたり、大きな声をできるだけ出さない。

B. 参加するクラブの代表者に関して

- ☐14 試合前の適当な時間に検温し、37度以上ある選手は参加させない。
- ☐15 試合前の練習で、極力対面の状態を作らない工夫をしている。
- ☐16 指導者一人が指導する選手の数20名程度としている。
- ☐17 胸や関節が痛い、咳が出る、食べ物の味やにおいを感じないなどの自覚症状を確認している。
- ☐18 必ずマスクを着用し、選手を集めて話をするときには、適切な(2m程度)距離を取らせる。
- ☐19 笛や作戦ボードを共用しない。
- ☐20 試合中に飲む水等のペットボトル、スクイズボトル及びタオルを共用せず、各自で用意している。
- ☐21 少しでも具合の悪そうな選手を見たら休ませて様子を確認している。

C. 選手に対して

- ☐22 自宅で着替えて、活動終了後も自宅に戻り着替えシャワー等を使用する。
- ☐23 各自のタオルを持参し、他人と共用しない。
- ☐24 各自でペットボトルもしくはスクイズボトルを持参し他人と共用しない。
- ☐25 試合場所で極力食事をしない。
- ☐26 試合前に検温、健康観察を行い少しでも問題がある場合指導者に報告している。
- ☐27 体調が充分でないときは、見学もしくは帰宅する。
- ☐28 必要に応じて、手洗い、アルコール消毒を行っている。
- ☐29 試合中は唾や端を吐かない。
- ☐30 飲みきれなかったドリンクの類を、指定の場所以外で捨てない。
- ☐31 マスクを持参し、プレーをしていない時は必ず着用している。
- ☐32 感染防止のため、クラブが決めたルールをしっかりと守っている。

D. 保護者への働きかけ連携

- ☐33 試合の見学時は、隣の人との距離を取って見学している。
- ☐34 マスクを着用し、大声を出さない。
- ☐35 選手の体調に気を配り、少しでも具合の悪い時は参加させない。